

リーディングDXスクール事業 【実践事例】

甲州市立塩山南小学校

【取組内容④】クラウド環境で協働的な教員研修① 非同期・分散＋共同で時短と深い学びの研修へ

【塩山南小】校内研究 外部

36人のメンバー・制限付き

チャット ファイル タスク

【総合教育センターから】  
デジタルピックアップ問題が配信されました。  
授業や短時間の学習、家庭学習で活用できるようにフォーム形式になっています。  
小学校4教科、中学校5教科あります。校内の先生方へ利用を促してください。  
[https://www.ypec.ed.jp/?page\\_id=4049](https://www.ypec.ed.jp/?page_id=4049)  
[https://www.ypec.ed.jp/?page\\_id=4045](https://www.ypec.ed.jp/?page_id=4045)

7



算数の研究会でスライドで共有した一部。参観者からの意見、疑問点をすぐに可視化し、共有その後の質疑で焦点化して解説可能に。

10月20日塩山南小学校の公開授業研究会の様子。市外の先生もフリーWi-FiでChatに参加。県外の先生もオンラインでChatに参加。URLからjamboardやスライドで共同編集して協議を進めた。意見や感想もすぐに共有し学びを深めた。

【校内共有授業動画】先日、藤山台小学校に視察に行きました。久川先生をお願いして授業を2時間、参観させていただきました。貴重な授業動画です。校外持ち出し禁止です。6年生社会科、学習者主体の究極の授業です。整理・分析後の児童同士のアウトプットがすごいです。児童の頭がフル回転の授業です。子どもが忙しい授業をめざしていきたいですね。  
<https://drive.google.com/file/d/1c9uAFJbZvZ861PKrQubqJtovPf2vtteq/view?usp=sharing>

塩山南小学校 教員 久川 2023年10月5日  
担任:久川 敬文先生

学習者主体の究極の授業  
久川学級6年社会科「元寇」

遠隔での授業の様子



PDF 社会科6年藤山台小久川学級.pdf

参集しなくても、放課後や空き時間、自宅等いつでも、どこでも先進的な実践事例を共有。例え先進校に視察に行けなくても先生方は、学びを深め、授業改善につなげることができる。

6年 算数「円の面積」

E 県外、教育委員会、センター、教育事務所等12名

	よかった点	疑問点
学習者主体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分で決めたルーブリックに対し、個人で方法を選択し学習に取り組んでいる</li> <li>・学習の目当てを共有し、さまざまな方法で意欲的に取り組もうとしていた。</li> <li>・自分(たち)と異なる考え方についても積極的に知るうとしている。</li> <li>・一人で考えようとする子ども、グループで検討したりなど子どもたちが自ら望む形態で学習に取り組んでいる。</li> <li>・子ども達が、紙、タブレット、ノート、また複数を選択し協働的な学びが展開されていた。</li> <li>・深い学びになるからこそ、アウトプットしたいという思いが高まると感じた。また、アウトプットする中で、聞き手が質問したり答えたりする場面が見られ、お互いに考えが深まるとともに、広がりも感じられた。</li> <li>・教師が教えず、子どもたちが考える時間が確保されているところが良い。</li> <li>・学ぼうとする姿勢が素晴らしいです。それにつきます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習方法の自己決定、自己選択は、一つに固定されず、学習内容によって違いがあるでしょうか。</li> <li>・一人一人が主体となっていることに注意が必要があると思いますが、先生方はどのようなことに注意されていますでしょうか。</li> <li>・授業にメリハリがあり、子どもたちも授業に集中して臨んでいました。普段から留意していることをご教示ください。</li> </ul>
見・考 学習過程	<ul style="list-style-type: none"> <li>・考えたことを自分の言葉で論理的に説明しようとしている。</li> <li>・自分の考えをしっかりと表現することができる。</li> <li>・自らが考えたことを整理したことで、本時の授業のねらいに達成できたかどうかを確認することができる。</li> <li>・見方・考え方をしっかり把握していることで、子ども達が深い学習へと導かれていた。</li> <li>・まとめをする際に、めあてに戻ることで「つまり・・・」という担任の言葉がけにより、子ども達が再度学習に振り返ることができていた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全員の考えを見る時間はあるのか？答え合わせや共通点、相違点等の確認を行う時間はあるのか？</li> <li>・授業の早い段階で「おうぎ形と三角形」という見方ができている子に、授業の途中で新たな学習課題を提供することも考えられるでしょうか。</li> <li>・おうぎ形と三角形の組み合わせで構成されている図形を3種類ほど用意して、課題を自己選択させることも可能かと思いました。その課題解決から「つまり・・・」を導き出すことも複線型になるのかと思いました。</li> </ul>